

参加団体並びに関係者の皆様へ

第2回東京舞祭は、昨年同様に両日とも天候に恵まれ開催することが出来ました。これも東京舞祭関係者全ての皆様の祈りが届き、秋空も応援してくれたのだと思います。

東京舞祭は、『ジャンルを問わず、子どもが主役となり、東京の真ん中で舞い踊る祭』を基本コンセプトにして開催しております。そして今回は、38団体ものお申し込みを頂き開催できましたことを心より厚くお礼申し上げます。

今回は、昨年開催することを断念した新宿中央公園会場を含め、都民広場会場（コンテスト）・都庁通り会場（パレード）・新宿中央公園（パフォーマンス）の3会場が無事に開催することが出来ました。

コンテストでは、受賞した団体、今回は受賞できなかった団体の皆様の、笑い喜び、嬉し泣き、悲しみ、悔し泣きなどの喜怒哀楽を拝見し、踊り子たちがコンテストに向けて必死で練習してきた姿が目に見え、私の心は感動で一杯となりました。

都庁通りは、東京マラソンのスタート地点をパレード演舞会場としております。晴れやかな日差しの下、会場を独占して演舞できる喜びを各団体の踊り子が、皆笑顔で伸び伸びと表現できていたことがとても印象に残りました。

新宿中央公園会場は、縁日をコンセプトとしたお祭り会場としております。ナイアガラの滝をバックにしたローケーションで、東京舞祭の参加団体が踊る姿はとても絵になっており、撮影者がシャッターを押す指にも力が入っていたような気がします。会場内には、飲食からワークショップまでの様々なブースを設置しており、飲食するテーブルも数多く用意してあった為、家族連れからカップルまでが楽しそうにしていたのが印象的でした。また、ステージ前のテーブル席は観客で埋め尽くされ、その観客の前で演舞する踊り子たちの表情に緊張はなく、笑顔でハツラツと楽しみながら演舞していたと感じました。

今回は3会場の同時運営となる為、運営面で不手際が多々あったと思います。しかし、皆様のご協力により大きな事故等もなく無事に終了出来ましたことに、改めて厚くお礼を申し上げます。

最後に、東京舞祭は、『東京舞祭 五つの願い』を目指して『東京の真ん中で舞い踊る』子どもが主役の団体を、来年もお待ちしております。

今後ともご協力と応援をお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

平成27年10月6日

東京舞祭実行委員会
理事長 滝 良貞